

コロナ禍で転職検討者が増加傾向

◆コロナ禍で転職を考える人が増加

株式会社 MyRefer が行った「コロナ禍の転職意向調査」によると、コロナ禍において、転職を考える人が増えていると言います。この調査では、回答者のおよそ8割が「転職を考えた」としています。その理由としては、「会社や事業の将来性に不安を感じたから」(53.6%)、「働き方を変えたいから」(42.4%)、「自分のキャリアを見つめ直したから」(36.4%)が上位でした。会社や事業の将来性に対する不安や、働き方についての価値観の変化から、転職を考える人が増えたと言えます。

◆人材の確保に向けて

調査では、転職を考えた人のなかで、実際に転職をした人は1割程度でした。しかし、いずれは実行に移そうと考える転職予備軍が一定数いるとも考えられます。

では、自社の離職を防ぐには、あるいは転職先として選ばれるためには、どのようなことに留意すればいいのでしょうか？

まずは、前述の転職を考えた理由に対処することです。つまり、自社のビジョンを明確に伝える、労働者の働き方の希望やキャリアプランを把握し、それに応えていくこと等が考えられます。



次に、転職を考える人が重視する項目に対処することも有効でしょう。主なものとしては、①給料、②残業量や休曜日数、勤務体制、③勤務地があります。③はもちろん、①や②も急に改善することは難しいかもしれませんが、しかし、自社が他社に比べて、これらの項目でどのような位置にあるのか、少なくとも現状を把握することは必要でしょう。

転職がポジティブにとらえられる時代が来ています。人材確保のために何ができるのか、あらためて考えてみてはいかがでしょうか。

【参考】(株) MyRefer 「コロナ禍の転職意向調査」

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000053.000036924.html>

☆☆☆☆☆ フォルテ労務より ☆☆☆☆☆

8月に入りコロナの感染が非常に多くなりました。8月18日には静岡県もいよいよ緊急事態宣言が出されることが決まり、8月20日より9月12日まで適用されます。さらにいっそうの感染対策が必要になります。

一時申請も少なくなった雇用調整助成金もまた増加してくるのではないかと思います。国や県・市から出される給付金等もチェックしていきたいです。

【業務改善助成金】

10月に最低賃金の引き上げが予定されていますが、この賃金引き上げを実施する際、生産性向上に資する設備の導入であれば事前に実施計画、申請を出すことにより設備金額の助成が受けられます。条件、期限等ありますので、検討されたい企業様は早めの確認をしてください。現在、時給885円から915円の従業員がいることが大前提です。

